

「あなたがいるから」

校長 鈴木 隆志

川越市にある「ヤオコー川越美術館」は、現代リアリズムの洋画家・三栖右嗣氏^{みすゆうじ}（1927-2010）の作品を集めた小さな美術館です。三栖の作品180点を所蔵していますが、中でも満開の枝垂れ桜を描いた『爛漫』は圧巻です。私も今年の春、美術館での“お花見”を楽しんできました。

この美術館は、埼玉県を中心に150店舗を展開するスーパーマーケットチェーンストアが自社の120周年を記念して開館したものです。会長の川野幸夫氏^{かわのゆきお}は、著書の中で社訓^{*}とも言うべき言葉を50に整理して紹介しています。その一つが、私の心に留まりました。

「あなたがいるから」と思われるような仕事をしよう

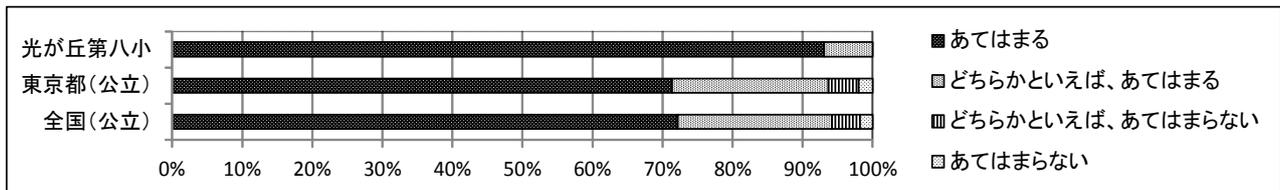
大人でも子供でも、職業の有無にかかわらず、相手のことを考え、誠意ある行動（仕事）を続けることが大切です。とは言っても、ひとりよがりな誠意の押しつけではいけません。「あなたのためにこんなに〇〇してあげているのに…」「応えてくれない、分かってくれない」とため息をつくのは、「くれない族」と呼ばれる人たちです。この不満は、やがては怒りや恨みへと膨らんでしまいます。

「存在価値」とは、相手の側から評価されるものであって、いくら自分の立場で存在価値があると思っても、相手がそれを認めてくれなければ、それはこちらのひとりよがりによって終わってしまいます。

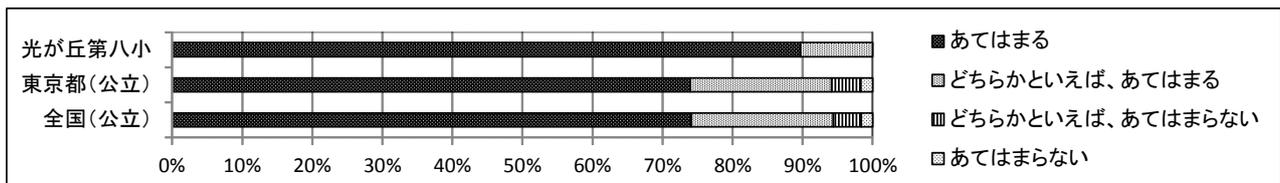
「あなたがいるから」と思われるような行動（仕事）をしているかどうか、これは自分の存在価値を知る尺度でもあるのです。そして、みんなが幸せになるために欠かせない大切な営みなのです。

下のグラフは、今年度4月に実施した全国学力・学習状況調査（6年生対象）の結果の一部です。

◆人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



◆人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。



光っ子たちのよさは、みんなが、人の役に立ちたい、人の気持ちを分かりたいと思っているところです。実際に、光っ子たちは「あなたがいるから」と思われる行動（仕事）をたくさんしています。光八小のよさが、上級生から下級生へと引き継がれていくよう、「あなた」を大切にしていきます。

* 川野幸夫『日本一強いスーパー ヤオコーを創るために母がくれた50の言葉』（産経新聞出版 2011）